

2026事業年度経営目標

1. 基本目標

将来にわたる事業運営の安定化と経営基盤の強化を図るとともに、競馬の施行を通じた社会貢献を果たしていくため、2026事業年度の基本目標は以下のとおりとする。

○ 事業運営の根幹となる開催日数288日（36開催）の競馬の着実な実施

- ① 競馬の公正確保の徹底や防疫面での強固な取組み、各種システムの安定的運用、暑熱対策の更なる強化等を通じて、288日の競馬を着実に実施する。
- ② 自然災害等により当初計画での実施が困難な場合は、関係各所との調整を速やかに行い、代替競馬・続行競馬を実施する。

○ 競馬の魅力の向上

- ① 以下の取組みにより、お客様総数の増加を図る。
 - 競馬場ならではの体験価値の向上や多様な情報発信等による開催競馬場の入場人員の増加。
 - 快適な観戦環境の提供、販売ネットワークの拡充等によるパークウインズ及びウインズ等の入場人員の増加。
 - 電話・インターネット投票の利便性向上等による会員及び利用者の増加。
- ② お客様に競馬への関心を高めていただくことにより、発売金の増加を図る。

2. 個別目標

基本目標に掲げる「事業運営の根幹となる開催日数288日（36開催）の競馬の着実な実施」及び「競馬の魅力の向上」を達成するため、2026事業年度の個別目標は以下のとおりとする。

（1）魅力ある競走の提供

お客様に長期にわたって中央競馬を楽しんでいただくため、魅力ある競走を提供する。

- ① G I 競走を頂点としたわかりやすい競走体系を構築する。
- ② 質の高い出走馬による内容・頭数の充実した競走を提供する。（平地重賞競走について、1競走あたりの平均出走頭数が14頭以上。）
- ③ 中央競馬が世界のチャンピオンホースを決定する重要なステージとして位置付けられるよう取り組む。

(2) 競走馬の資質・能力の向上等への取組み

お客様に質の高い競走を提供するため、競走馬の資質・能力の向上等に取り組む。

- ① 競走馬の生産育成や保健衛生、事故防止等に取り組む。
- ② 近年の夏季における気温上昇を踏まえ、暑熱対策を実施する。
- ③ トレーニング・センター等の競走関連施設の充実を図る。
- ④ 厩舎運営の活性化、厩舎関係者の養成等に取り組む。

(3) 競馬の公正確保等の徹底

競馬の公正を確保し、又は競馬の円滑な実施を確保するため、万全の態勢を整えるとともに、不正事案の防止等に向けた取組みを徹底する。

- ① 馬主・競走馬等の登録、調教師・騎手の免許及びその取消しについて、競馬関係法令に基づき、厳正に実施する。
- ② 競馬の公正を確保していく上で必要な制裁や処分を厳正に実施するとともに、競馬の円滑な実施を確保するために必要な措置を行う。
- ③ 薬物の不正使用事案を未然に防止するため、保安体制の整備や関係者への指導・研修、禁止薬物等の飼料への混入防止の徹底に努める。
- ④ 競馬の公正を害し、又は競馬に対する社会的な信頼を損なうおそれのある行為を未然に防止するため、研修等を通じて厩舎関係者等の法令や社会規範等の遵守に対する意識の徹底を図るとともに、実効性のある対策を講じる。

(4) 競馬への参加促進及び販売促進

競馬のイメージ向上と話題喚起を図ることで幅広い層のお客様の参加を促すとともに、馬券をより購入しやすい環境の整備に取り組む。

- ① G I 競走をはじめとした様々な機会にテレビCMの放映やSNSを中心としたWebプロモーションを実施し、競馬の魅力を訴求する。
- ② 競馬中継の安定的な提供やパブリシティ活動の充実により、競馬に対する興味を喚起する。
- ③ UMACA投票やスマッピー投票の更なる普及を図るとともに、引き続き電話・インターネット投票会員への加入促進に取り組むなど、馬券購入の利便性の向上を図る。
- ④ JRAホームページの利便性向上やJRAアプリの機能追加、また、これらを通じたレース動画のライブ配信の充実等により情報・映像提供の充実を図る。
- ⑤ 特別な払戻率の設定やその他の各種販売促進施策を実施する。
- ⑥ 競馬場・ウインズ等における滞在環境の改善や接客体制の充実を図り、ホスピタリティの向上に努める。

(5) 馬事の振興及び馬の福祉の充実

我が国の馬文化を支え、競馬を健全に発展させるため、馬事の振興や馬の福祉の充実に努める。

- ① 乗馬人口の拡大を図る。
- ② 馬術の振興及び技術の向上を図る。
- ③ 馬事文化の発展に寄与し、競馬への理解を促進する。
- ④ 引退競走馬のセカンドキャリア促進を図るとともに、その養老等に関する取組みを推進する。

(6) 事業基盤の強化に向けた取組み

中央競馬を安定的かつ持続的に発展させるため、事業基盤の強化に取り組む。

- ① DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進や危機管理体制及び情報セキュリティの強化等により、効率的・安定的な事業運営を行う。
- ② 人的資本経営の観点から、JRA職員等の人材確保及び養成の取組みを推進する。
- ③ 将来にわたる競馬産業の人材確保に努めるとともに、馬を活用した次世代育成に取り組む。

(7) 社会からの信頼確保に向けた取組み

持続可能でよりよい社会の実現に貢献するため、社会貢献活動や環境問題等に積極的に取り組むとともに、これらを広く社会に伝えることで、社会に信頼される中央競馬を目指す。

- ① 地域社会との連携・協調や畜産振興への支援等を通じて広く社会に貢献する。
- ② 事業活動に伴う環境負荷を抑制しながら環境との調和を図る。
- ③ 法令や社会規範を遵守し、組織運営の透明性・信頼性を確保する。

(注記) : お客様総数 = 競馬場・ウインズ・エクセル・J-PLACEへの来場者数
+ UMACAスマートの利用人員数
+ 電話・インターネット投票の利用人員数
(海外競馬の競走の発売を含む)